

## 県内の遺跡・遺物55

## 佐渡金山遺跡（平成6年 国指定）

遺跡所在地：佐渡市相川広間町ほか

佐渡金山は近世におけるわが国最大の金銀山です。慶長6年(1601)に相川で金鉱脈の採掘が本格的に開始され、世に知れわたることとなりました。同年、幕府は佐渡を天領とし、幕府直営のもとに鉱山開発を進めました。最盛期は元和初期から寛永中期頃(1615～1634)で、出鉱高が10日で190tに達する坑もありました。

採鉱作業は湧き水との戦いでした。江戸中・後期になると浸水のため廃坑となる坑が増え、産出量も減少しました。明治維新後、政府は洋式の技術を採用して近代化を図りましたが、明治29年(1896)に民間に払い下げられ、平成元年(1989)まで操業が続きました。

周辺には関連する史跡と当時の人々の文化のあとが数多く残っています。

資料提供：佐渡市教育委員会



## 1 道遊の割戸

慶長の初め頃、人々はこの山の尾根や沢筋に露頭（鉱脈が露出した部分）を見つけ採掘を進めた。その結果、山が二つに断ち割られた。頂上部の裂け目の幅は約30mあり、佐渡金山のシンボルとなっている。



## 2 南沢疎水坑道

坑内にたまる湧き水処理のため、岩をくりぬいて掘った排水用のトンネルである。元禄4年から9年(1691～1696)のわずか5年間で、相川湾までの922mを鑿と才槌だけの手掘で貫いた。



## 3 大久保長安逆修塔

大久保長安は慶長8年(1603)に佐渡奉行に任じられ、直山制と呼ばれる直営形態で鉱山を經營し、開発の礎を築いた人物である。逆修塔は長安が自分の死後の冥福を祈って生前に建てた宝篋印塔である。

## 埋文にいがたNo 57

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  
〒956-0845 新潟市金津93番地1  
TEL (0250) 25-3981  
FAX (0250) 25-3986  
e-mail: niigata@maibun.net  
URL: http://www.maibun.net  
印刷 阿部印刷株式会社